

高濃度エタノール商品「赤鳥居 65」 5月11日【月】より出荷開始！ 新型コロナウイルス早期終息祈願商品

元禄元年創業、佐賀県の合資会社光武酒造場（本社：佐賀県鹿島市浜町、代表社員：光武 博之）は5月11日（月）より 高濃度エタノール商品「赤鳥居 65」を発売開始します。

■商品説明

商品名：赤鳥居 65（スピリッツ） 限定本数：1,600本

【商品特徴】

弊社ではスピリッツの製品開発を予てより進行しており、新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっている現状で、消毒用エタノールの代替品として手指消毒に使用できる高濃度エタノール製品を開発いたしました。

本製品は地元浜町に存在した祐徳稲荷神社参道一の鳥居である、通称「赤鳥居」より名称を拝借しております。また本製品は祐徳稲荷神社にて新型コロナウイルス早期終息の祈禱を行っております。皆様が安心安全な生活を過ごせるように少しでもお役に立てることができればと思います。

本製品は医薬部外品ではありませんが消毒用エタノールの代替品として、手指消毒に使用することが可能です。

酒類：スピリッツ

原材料名：醸造アルコール／ジュニパーベリー

アルコール度数：65度

希望小売価格：500ml 1,300円（税別）

出荷開始日：5月11日（月）

■販売先

主に佐賀県内の酒販店にて販売予定



祐徳稲荷神社の一の鳥居であり
町のシンボルとして愛されていた赤鳥居

■光武酒造場について

創業：元禄元年（1688年）

企業理念：酒造りは人づくり

光武酒造場のある鹿島市浜町は、江戸時代から酒造りが盛んで、酒蔵が多く残っています。その街並みは通称「酒蔵通り」とも呼ばれています。数ある酒蔵の中でも光武酒造場は「伝統の中からの革新」を合言葉に、時流を的確につかみ、昔からの酒造りの伝統は守りながらも一つ一つの製品の品質向上のため絶え間のない努力を続けています。目指すのは、お酒の美味しさが人々の気持ちを豊かにし、沢山の人々が幸せを感じられるような酒造りです。飲んでいただいているお客様、販売に携わっている方々、そして社員全員が誇れる蔵元を目標に、今日も一生懸命酒造りに励みます。



【商品に関するお問い合わせ先】

合資会社 光武酒造場

〒849-1322 佐賀県鹿島市浜町乙 2421 番地

TEL：0954-62-3033

FAX：0954-62-3075

HP：<http://www.kinpa.jp/>

E-mail：info@kinpa.jp

▼「光武酒造場」関連ページ

公式サイト：<http://www.kinpa.jp/>

公式オンラインショップ：<http://www.hizennya.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/mitsutake.kinpa>

Instagram：<https://www.instagram.com/explore/locations/241854126/>